

リベルタ新聞

お芋企画

10月の終わりに、リベルタガーデンに植えてあったさつまいもを掘り起こしました。今年は去年に比べ、たくさん採れました。27日には蒸し芋企画を行いました。中まで柔らかく甘いお芋に利用者様も喜んでおられました。またちよつとしたさつまいもに関するクイズも行ない、少しだけさつまいもに詳しくなりました。



2018年
12月1日(土)
リベルタ新聞社
富士市厚原372番地1
ホームページ
<http://www.fujic3.com>
TEL:0545-72-3833

— 介護センターリベルタ回顧談 —

当施設にお世話になって六年を迎えることになりました。時の流れ去る速さに驚きを感じました。病後の快復を求め施設入所となったが、当初は施設の主たる目的、機能など全く理解しておらず不安でした。送迎車に迎えられ控え室にて過す時間となり多くの利用者と席を共にすることになりましたが、何の会話もない雰囲気には苦痛を感じるのみでした。体調に不安を抱えていた中で厳しい時間の連続となりました。こんな状態を背負いながら施設の日課に従い、リハビリ、レクリエーション等の活動に取り組み順調に消化する流れの体験活動が続けてきた結果、心にゆとりを覚え周囲に目を配る余裕が出てきた時でした。職務に専念する職員各位が、個々の利用者に対し手厚い介護やこまやかな心を配る姿に目が留まり不安続きの感情に明るい活力が蘇ってきた時でした。リベルタの果す目的は契約者に対する介護予防の提供にあることを知るに至ったのは職員の言動でした。いつも温かい心づかいをいただき生氣と戻したことは残された人生を生き抜く原動力となることを信じ、これから先の健康に対する意識向上にもなることだと思えました。当施設での介護体験を通じて感じたことは高齢化時代を向かえ健康長寿者に明るい光がそそがれている現代社会に於ては、このような施設存在は不可欠なものとなることは誰もが認めることではないかと思う。

長い期間お世話いただいているリベルタに感謝申し上げこれから先も通所を続け健康維持に努め明るい人生を送っていききたいと思っています。想うがままに過したりリベルタでの回顧の一報でした。

望み多き一利用者より

老いた身に
絶えぬ讚美の